

北斗市備蓄計画の改訂について

北斗市備蓄計画については、これまで、函館平野西縁断層帯地震の被害想定（避難者数 6,000 名）に基づき、飲料水、食料等の備蓄を整備してきたところですが、令和 4 年度に北海道から日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴う巨大津波の被害想定が出されたことや能登半島地震における避難所生活改善の教訓等から、備蓄目標や整備する品目の見直しを行うため、町内会の皆さまにアンケート調査を実施させて頂きました。

アンケート結果から、北斗市備蓄計画について、承認を頂けたものと考え、現在見直している方向性で進めさせて頂きたいと思います。皆さまから頂いた貴重な意見等は今後の防災行政に反映させていきたいと考えております。

1 備蓄目標（備蓄の量）

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の被害想定に基づき、津波避難者 18,000 名のうち、避難所に避難すると想定される 12,200 名を備蓄目標とし、政府のプッシュ型支援が 4 日目から始まることを考慮して、3 日分を備蓄することとしました。ただし、食料・飲料水は流通備蓄（協定を結んでいる大型スーパーからの支援等）が東日本大震災や胆振東部地震の際に 2 日目以降から始まっていることを踏まえ、1 日分としています。

※ 備蓄整備完了時期については、5 年後（令和 11 年）としています。

2 整備する備蓄品（備蓄の種類）

現在まで整備している備蓄品に加え、能登半島地震における避難所生活改善、特にトイレに関する問題があったことから、今までの携帯トイレとラップ式トイレに加え、簡易トイレ、トイレトイレットペーパー等を整備することとしました。

3 備蓄品の保管場所（備蓄の場所）

現在は清川防災備蓄倉庫などに集中保管していますが、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震発生時の混乱した状況で必要な物資を、開設する避難所等に配分することは困難であるとの問題認識から、開設されることが予想される避難所に必要な食料・飲料水、毛布、携帯・簡易トイレ等を施設管理者の協力を得て保管する分散備蓄を進めることとしました。

4 北斗市備蓄計画に係るアンケート結果について

上記の事項について、北斗市として市民の皆さんの意見を計画に反映することが必要であると考え、アンケートを実施し、その結果は以下の通りです。

- (1) 備蓄の量：プッシュ型支援までの 3 日分を備蓄
 適切 約 77% 不適切 約 15% 不明 約 8%
 主な意見：国の支援が遅れる可能性があり、3 日分より多いほうが良い。
- (2) 備蓄の種類：食料・飲料水、おむつ・ミルク、生理用品、携帯・簡易トイレ、毛布、簡易ベッド・テント、避難所資機材、感染症予防資材等
 十分 約 69% 不十分 約 23% 不明 約 8%
 主な意見：タオル、ティッシュ等の日用品、ガスボンベ、スマホ充電器・電池、モバイルバッテリー、救急薬セット、ペット用品等も必要ではないか。

- (3) 備蓄の場所：清川備蓄倉庫以外の指定避難所等に分散備蓄を推進
適切 約92% 不適切 約3% 不明 約5%
主な意見：町内会での備蓄を要望、津波以外の混乱した災害想定への検討が必要
- (4) その他（自由意見）
- 平素からの避難場所・備蓄場所等を、住民に周知・確認させることが重要
 - 交通の利便性、災害時の混雑状況を踏まえた分散備蓄、配送担当者の指定が必要
 - 避難者全員分の備蓄を確保できているのかが疑問
 - お年寄りや障がい者等が歩いて避難できる場所の確保が必要
 - 北斗市防災総合訓練に取り入れてはどうか。

5 アンケート結果の反映について

- 備蓄の量
より多くの備蓄を確保することが望ましいですが、保管場所の確保等を考慮して適正な数量を確保することが必要です。北斗市としては、企業や近隣自治体との協定を進めて、北斗市以外からも必要な物資を迅速に調達できるように調整していきたいと考えています。
- 備蓄の種類
備蓄の種類は、避難所生活を行う上で必要最小限の品目を選定しています。現状としては、日用品（タオル、ティッシュ、歯ブラシ等）やペット用品は個人で準備して頂くもの、ガスコンロ等は施設の調理室等を活用することが可能であるもの、モバイルバッテリーは通信業者がスマホの充電支援を積極的に行うこと等を踏まえたものです。
しかしながら、避難所生活に必要なものについては、今後も皆さんの意見を確認しつつ、なにが必要なのかについて継続的に検討する予定です。
- 備蓄の場所
基本的には北斗市で整備したものを町内会で備蓄・管理して頂くことは想定しておりません。ただし、町内会等で必要と考える備蓄品を、津波浸水予測範囲の外側の町内会の会館や倉庫等に、調整して保管させてもらうなどについては可能です。また、津波以外（洪水等）は災害発生をある程度予測できることから、津波に対応できる体制をとりつつ、洪水等には十何に対応するよう考えています。
- その他（自由意見）
徒歩避難できる場所の確保については、今後も関連機関と協議を進めていきます
10月25日（土）の令和7年度北斗市防災総合訓練では、備蓄品を会場である公民館に、担当部署である経済部と消防団が協力して配分する訓練を行い。北斗市で備蓄しているものをスポーツセンターに展示し、どんな備蓄品がどこにあるのかを、皆さんに知って頂く予定ですので、是非、訓練に参加して頂き確認して頂ければと思います。
また、状況によっては、避難所に必要な物資が届かず不足する事態も想定されます。津波では、大野地区の町内会の支援による共助が極めて重要になると考えておりますので、ご協力をお願いします。